

事務事業名		例規集電子化事業(議員使用分)				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業					
総合計画	政策名	効率的な行財政運営によるまちづくり				所属課	総務課	担当	行政人事担当		
	施策名	効率的な行政運営の推進				課長名	廻谷 陽一	担当者名	粕谷 嘉宏		
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等			
		1	0	2	0	1	1	0	0	5	法規行政文書管理費
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~	年度)	
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 議員が使用している例規集(A4サイズ、2冊1組、幅約10cm)について、権限移譲等による条例規則等の制定が相次ぎ、ファイルの容量を超えようとしている。議場内各座席の保管スペースのサイズも余裕はなく、分冊(2冊から3冊へ)による対応が難しい状況。 そこで、タブレット端末(iPad)を導入し、例規集を電子化することで問題を解消したい。電子化により環境へも配慮され、これからの時代にふさわしいツールといえる。ただし、電子化には方法が2つあり、案を示し、評価会議に諮りたい。</p> <p>(案1)例規集を電子書籍化…操作感は紙に近く、感覚的に使える 概算事業費(消費税8%で積算) タブレット端末代 @53,784×12人 アップルケア(2年補償@10,584)を付ける場合は追加料金 (リース不可、買取のみ) 付属品(プロテクター、タッチペン)@5,000円 初期データ作成料1,630,800円 (毎年)データ更新料約260,000円 加除作業・印刷代は削減になる H26年度事業費約2,667,000円 ランニングコスト約60,000円/年増の見込み (案2)PC画面と同様の表示…コスト的に有利(iPad以外の端末でも可) 経費は、端末購入費用のみ H26年度事業費約840,000円 ランニングコスト約200,000円/年減</p>									

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	タブレット端末の導入	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	町議会議員	ア 導入台数	台
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)	例規集の収納問題の解消及び利便性の向上	イ	
		(5) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位
		名称	
		ア 議員数	人
		イ	
		(6) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位
		名称	
		ア タブレット端末を利用する議員	人
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	0	12	0	0	0	0
	イ	実績値						
対象指標	ア	目標値	12	12	12	12	12	12
	イ	実績値						
成果指標	ア	目標値	0	12	12	12	12	12
	イ	実績値						

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		840			
	事業費計(A)	千円	0	840	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	30	20	10	10	10
	人件費計(B)	千円	120	80	40	40	40
トータルコスト(A)+(B)		千円	120	920	40	40	40

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町議員が使用する例規集であり公共関与は妥当	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	例規集を綴っているファイル及びファイル保管スペースが限界を迎えており、早急な対応が必要	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	(案1)システム管理を委託している業者による見積額である。電子書籍化する対象例規について、閲覧頻度の低い要綱、訓令等を除き、条例・規則等に絞ることによりコスト削減を図った(案2)タブレット端末のみの経費で済み、コスト的に有利	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	主に議会で使用することから、個人への負担は求めない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 25 年 10 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 ・案2の方向で進め、議員の理解を得ること	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・紙ベースの例規集は廃止とする ・台数は数台～12台とし、議員と調整すること ・外部への持ち出しは不可とする

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業